

NEWS RELEASE



関西国際空港株式会社

広報グループ TEL: 072-455-2201

「人と自然にやさしい空港」をめざして

APU 使用制限の一部変更について



駐機中の航空機から排出される大気汚染物質排出量の削減などを図るため、就航している全航空会社に対して固定動力施設(GPU)の利用促進を要請するとともに「航空機のアイドリングストップ」ともいえる補助動力装置(APU)の使用制限について 2003 年 1 月より航空路誌(AIP)に掲載しています。

今般、温室効果ガス削減に向けた国内外の動きを踏まえ、APU 使用制限の一部変更(出発予定時刻前の APU 使用時間を 30 分間から 15 分間に短縮)を行うこととし、下記のとおり航空路誌(AIP)の掲載内容を一部変更します。なお、本取り組みは日本初となります。

記

◇AIP の記載(RJBB AD2-23)の変更

【現行】

1.3 補助動力装置(APU)の使用制限

航空機が固定動力設備付きのスポットを使用する場合は、管理者が特に認める場合を除き、次に掲げる時間を超えて補助動力装置を使用してはならない。

(1)出発予定時刻前の 30 分間。

(2)到着後、固定動力設備が使用可能となるまでに必要とする最小限度の時間。

(3)航空機が点検整備のため補助動力装置を必要とする場合は最小限度の時間。

【変更】

1.3 補助動力装置(APU)の使用制限

航空機が固定動力設備付きのスポットを使用する場合は、管理者が特に認める場合を除き、次に掲げる時間を超えて補助動力装置を使用してはならない。

(1)出発予定時刻前の 15 分間。

(2)到着後、固定動力設備が使用可能となるまでに必要とする最小限度の時間。

(3)航空機が点検整備のため補助動力装置を必要とする場合は最小限度の時間。



◇実施時期等

AIP 発行日: 2009 年 12 月 17 日、有効日(AIP の記載の変更が有効となる日): 2010 年 1 月 14 日

◇APU 使用制限の変更による CO2 排出量削減効果の試算

約 7,500 トン/年の CO2 排出量を削減。(先行実施分を含む。関空の 2008 年度排出量 53.6 万トンの 1.4%)

燃料消費削減量: 約 305 万リットル、ドラム缶(200 リットル)換算で 15,200 本。一般家庭約 1,450 世帯の年間排出量に相当。杉の木約 535,000 本の年間 CO2 吸収量に相当。

◇参 考

航空路誌(AIP)

Aeronautical Information Publications: 航空法の規定に基づき国が発行する出版物であり航空機の運航のために必要な恒久的情報を収録したもの。